

課題曲 Tips ! (比較的多く弾かれる曲のみを掲載)

作曲家	曲名	(作品) 番号	調	ポイント
J.S.Bach	フランス組曲	I~VI (アルマンド)	d, c, h Es, G, E	和声の動きと多声部書法を理解。中ぐらいの速さ。反復進行や終止形を意識して、強弱を工夫しよう。生き生きと、かつ上品な表現で。ペダルは使用しても良いが節度をもって。
J.Haydn	ソナタ	Hob.16-23	F	(第1楽章) 生き生きとリズムに。音をよく揃えて。ユーモラスに。
		Hob.16-37	D	(第1楽章) con brio 元気に、パルス大切。強弱の明確な対比。 (第3楽章)innocentemente 可愛らしく。リズム感、左右のバランス。
		Hob.16-34	e	(第1楽章) 2拍子で取る、左右の対比、fermata付き休符しっかりと。 (第3楽章) 軽やかに。左手は小さく。変奏の性格を生かす。
		Hob.16-49	Es	(第1楽章) アウフタクト、リズム感、ニュアンス豊かに、ユーモア。 (第3楽章) 楽し気に。左右のポリリズムに注意。伴奏は小さく。
		Hob.16-52	Es	(第1楽章) エネルギッシュに。的確なリズムで。ユーモラスに。
W.A.Mozart	ソナタ	KV.280	F	(第1楽章) 軽快に、安定したテンポ感で(特に3連符)。
		KV.309	C	(第1楽章) オーケストラ的な性格。不規則的なフレーズに留意。
		KV.311	D	(第1楽章) 華やかに、articulation大切。オーケストラ的。
		KV.330	C	(第1楽章) 典雅で軽やか。リズム明快に、喋るかのよう。
		KV.332	F	(第1楽章) 上品、優美に。変化をもたせて。リズム、強弱に留意。 (第3楽章) 流れるように、休符を生かす。オーケストラ的。
		KV.333	B	(第1楽章) 流麗かつ表情豊かに、左手も歌う。リズム、fpなどに留意。
		KV.457	c	(第1楽章) 短調の緊張感。強弱やリズムの対比を明確にして、 ドラマティックかつ雄大に。 (第3楽章) syncopationのもつ不安定感・緊張感。休止符を意味深く。
		KV.570	B	(第1楽章) 簡潔に、優雅に、歌のように表情豊かに。

作曲家	曲名	(作品) 番号	調	ポイント
L.v.Beethoven	ソナタ	Op.2-1	f	(第1楽章)拍子とテンポ感に注意。アフタクトやシンコペーション。 (第4楽章)非常に速く、強弱の対比。
		Op.2-2	A	(第1楽章)生き生きと。楽想の対比。3連符きちんと(運指大切)。 (第4楽章)上行アルペッジオ軽快に。優雅さ。
		Op.7	Es	(第1楽章)生き生きと、フレージング大切に、無理ないテンポで。
		Op.10-1	c	(第1楽章)付点リズムと強弱の対比、緊張感。1小節1拍でとる。 (第3楽章)拍子とテンポに注意。ユーモアを持って。
		Op.10-2	F	(第1楽章)表情豊かに、的確なリズム感。 (第3楽章)軽快に、推進力を持って。
		Op.10-3	D	(第1楽章)快活なテンポ感で、ダイナミックに。左右の音量バランスに留意。
		Op.13	c	(第3楽章)拍子とテンポ、楽想の対比が大切。左右の音量バランスに留意。
		Op.14-1	E	(第1楽章)弦楽合奏のイメージ、温かく。 (第3楽章)明朗かつ流麗に。4拍子ではない。
		Op.14-2	G	(第1楽章)親しげな雰囲気。柔らかさ。3連符や32分音符、揃えて。
		Op.22	B	(第1楽章)生き生きと力強く、ニュアンス豊かに。雄大に。
		Op.27-2	cis	(第3楽章)推進力を持って、強弱対比。左右音量バランス留意。
		Op.31-1	G	(第1楽章)リズムの面白さを大切に。休止符にも留意。
		Op.31-2	d	(第1楽章)テンポの変化に留意。ニュアンス豊かに、緊張感。 (第3楽章)1小節を1拍で、フレーズ感大切、ドラマティックに。
		Op.31-3	Es	(第1楽章)テンポも動き、リズム、強弱を大切にしてユーモラスに。
		Op.53	C	(第1楽章)雄大に。16分音符厳密に、推進力、強弱の対比。
Op.78	Fis	(第1楽章)優雅に歌う、16分音符整えて、転調に留意。		
F.P.Schubert	ソナタ	D.568	Es	(第1楽章)上品に、長い息で。左右の音量バランスに留意。
		D.664	A	(第1楽章)歌のように、優雅に。展開部はドラマティックに、しかし丁寧な。
		D.845	a	(第1楽章)安定したテンポ感。オーケストラのイメージ